

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間中でも次の場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け等による故障及び損傷
- 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
- 本書のご提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
- 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	CD クロックラジオ			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	RCD-C005H	品番	07-6420	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
お客様	★お名前 様			
	★ご住所 〒 電話 ()			
修理メモ				
販売店	★住所 店名 電話			
	(印)			

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
 ※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
 ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-6420A

AudioComm®

CD クロックラジオ

型番 :RCD-C005H

取扱説明書

保証書付



このたびは、AudioComm® CD クロックラジオをお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。”なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目 次

免責事項	2
安全上のご注意	2~4
ご使用になる前に（CDについて）	5
電源について	6
音量について	6
各部の名称	7~8
時計の合わせ方	8
ラジオを聴く	9~10
メモリー登録	10
CDを聴く	11~14
リピート再生とランダム再生	12
プログラム再生（CDの曲順を並べかえて聴く）	13~14
アラーム機能の使い方	14~15
アラームを設定するには	14~15
アラームが鳴ったら	15
スリープ機能の使い方	16
ヘッドホンで聴く	16
ディスプレイの明るさ調整について	16
故障かなと思ったら	17
お手入れのしかた	17
主な仕様	18
保証書とアフターサービスについて	18
保証書	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
(左図の場合は感電注意が描かれています。)



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は分解禁止が描かれています。)



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
(左図の場合は“電源プラグをコンセントから抜く”が描かれています。)

警告

 コンセントから抜く	万一、煙が出ている、変なおいや音が出るなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 水かけ禁止	浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない ●火災や感電の危険があります。
 コンセントから抜く	万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 接触禁止  感電に注意	雷が鳴り始めたら、安全のため電源プラグをコンセントから抜く
 コンセントから抜く	万一、内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 禁止	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。
 コンセントから抜く	万一、内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 電池に注意	乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が悪く飲み込むことがないようにする ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。
 分解禁止	本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。	 禁止	本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
 禁止	海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器をえるのは日本国内のみです。	 禁止	電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
 コードを交換する	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。	 禁止	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。

注意

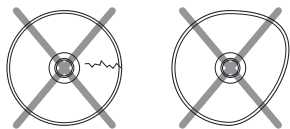
 禁止	調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない ●レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。 
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の危険があります。
 禁止	電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	 アンテナに注意	持ち運びするときは、FMワイヤーアンテナを束ねる ●伸ばしたまま持ち運ぶとアンテナが引っ掛かったりして、けがの原因になることがあります。
 禁止	ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。	 コンセントから抜く	移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
 乾電池の電極性に注意	乾電池を挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる ●間違えますと乾電池の破裂・液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 指を挟まないように注意	お子様がCDドア内に手を入れないように注意する ●けがの原因となることがあります。
 禁止	指定以外の乾電池は使用しない ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 音量に注意	ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない ●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
 コンセントから抜く	お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く ●感電の原因となることがあります。	 コンセントから抜く	旅行などで長時間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。
		 禁止	電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

ご使用になる前に(CDについて)

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク使用上の注意点



◆再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

◆ディスクに
 COMPACT DIGITAL AUDIO
 CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。

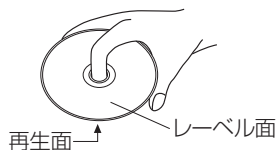
◆現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。
音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



◆本機はCD-R/CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
・CD-R/CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類や状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
・本機ではMP3やWMAなど、圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。

ディスク取扱上の注意点

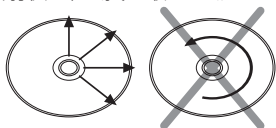
◆再生面に触れないように持ってください。



◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



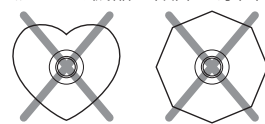
◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。



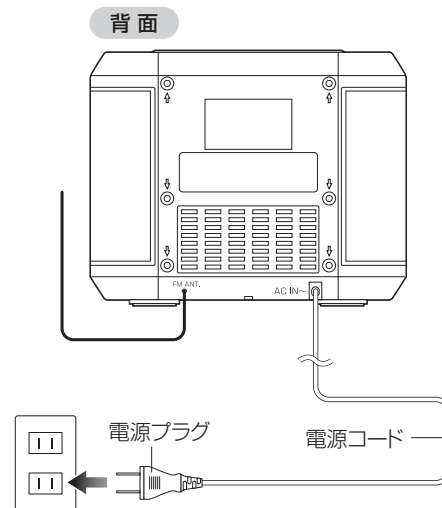
電源について



電源プラグを抜き差ししたり、時計用バックアップ乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行ってください。

家庭用コンセントへの接続について

電源プラグを家庭用コンセントへ差し込んでください。

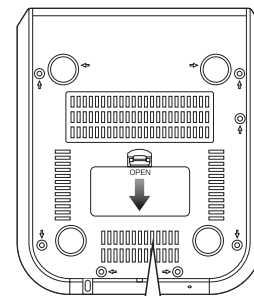


家庭用コンセントへ
差し込む AC100V(50/60Hz)

時計用バックアップ乾電池について

時計用バックアップ乾電池を装着しない場合、停電時や電源プラグを抜いたときに時刻設定が失われます。乾電池を装着のうえでご使用ください。

底面



- 本体底面の電池カバーのツメを外し、ふたを開けてください。
- 角型乾電池1本(9V 006P形：別売)を⊕と⊖の向きに注意しながら接続します。
- 入れ終わったら電池カバーを元通りにしっかり閉めてください。



◆本機を長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜き、時計用バックアップ乾電池も取り外しておいてください(液もれ等のおそれがあるため)。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・ショートさせない



注意

- ・⊕⊖の表示通りに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

※使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

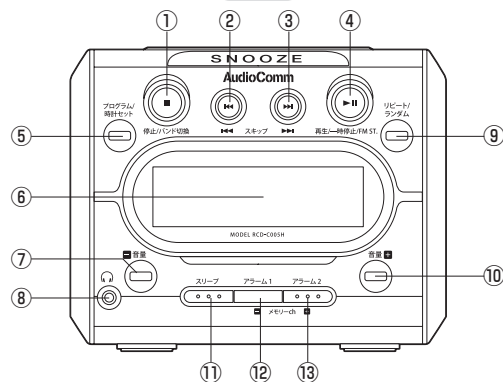
- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

音量について

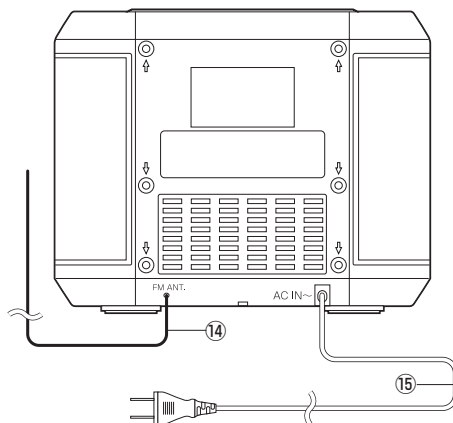
音量は「0」から「30」まで切り換えることができます。出荷時は「20」に設定されていますので、電源を入れたときは音量を調節しながらご使用ください。また、電源を切ったときもいったん「20」にリセットされますので、再度電源を入れたときは音量を調節しながらご使用ください。

各部の名称

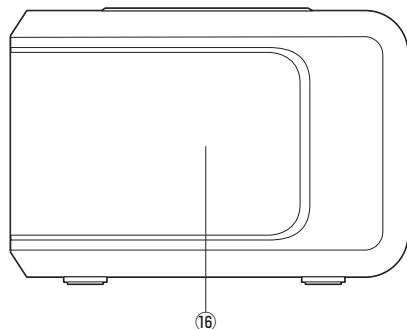
前面



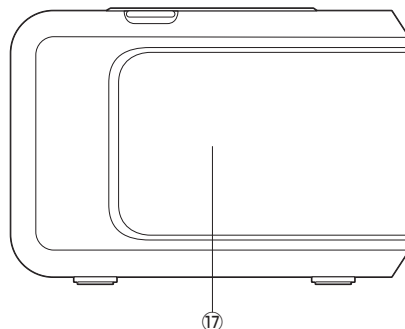
後面



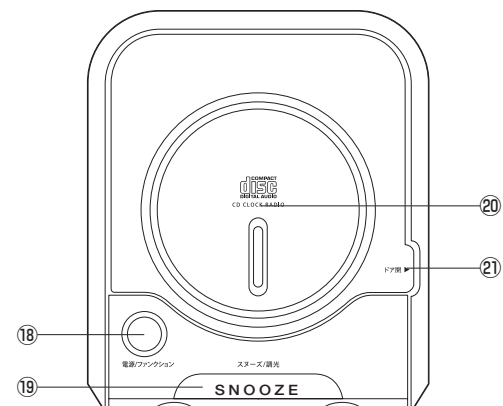
左側面



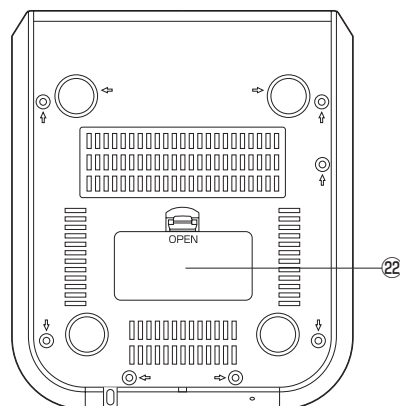
右側面



上面



底面



- | | |
|--------------------|----------------------|
| ①停止/バンド切替ボタン | ⑫アラーム1 / メモリー(-) ボタン |
| ②スキップボタン(⏮) | ⑬アラーム2 / メモリー(+) ボタン |
| ③スキップボタン(⏭) | ⑭FMワイヤーアンテナ |
| ④再生/一時停止/FMステレオボタン | ⑮電源コード |
| ⑤プログラム/時計セットボタン | ⑯左スピーカー |
| ⑥ディスプレイ | ⑰右スピーカー |
| ⑦音量ボタン(-) | ⑱電源/ファンクションボタン |
| ⑧ヘッドホン端子 | ⑲スヌーズ/調光ボタン |
| ⑨リピート/ランダムボタン | ⑳CDドア |
| ⑩音量ボタン(+) | ㉑CDドア開部 |
| ⑪スリープボタン | ㉒電池カバー(時計用バックアップ乾電池) |

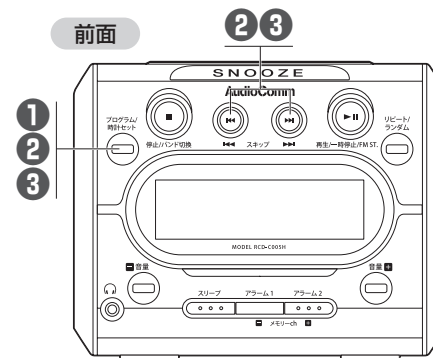
ご注意：初めてお使いになるときは、CDドアを開け、CDレンズ保護用に取り付けられているシートカバーを取り外してからご使用ください。

時計の合わせ方

電源が入っているときは、電源/ファンクションボタンを長押しして、電源を切ってから操作してください。

ご参考：この取扱説明書では、「電源を切る」ことを「スタンバイモードにする」等の表現で言い換える場合がありますが、いずれも電源/ファンクションボタンを長押しして、時刻表示にすることを指します。

前面



- 1** プログラム/時計セットボタンを長押しします。時計表示の「時」が点滅します。



- 2** スキップボタン(⏮/⏭)を数回押して「時」を合わせ、プログラム/時計セットボタンを押します。「時」設定が確定し、「分」が点滅します。



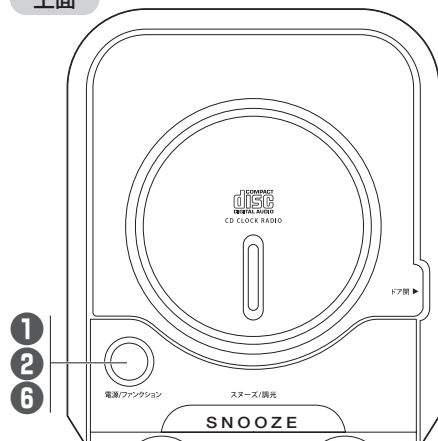
- 3** スキップボタン(⏮/⏭)を数回押して「分」を合わせ、プログラム/時計セットボタンを押します。時刻設定が確定します。



※約8秒間何も操作しない時間が続くと設定操作がキャンセルされます。その際はもう一度最初からやり直してください。
※本機の時刻表示は12時間表示です。午後の時間帯はディスプレイに「PM」が表示されます(表示されていない場合は午前です)。

ラジオを聴く

上面



1 電源／ファンクションボタンを押して、電源を入れます。

2 ファンクションが「TUNER」であることを確認します。
「CD」になっている場合は、電源／ファンクションボタンを押して「TUNER」にしてください。

3 停止／バンド切換ボタンを押して AM 放送または FM 放送を選んでください。

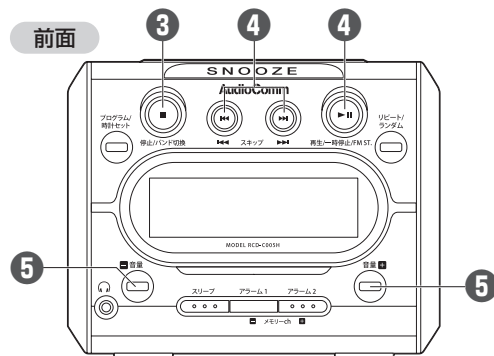


AM 放送の場合



FM 放送の場合

前面



4 スkipボタン(⏮/⏭)を押して聴きたい放送局を受信します。

●AM放送は9kHz単位、FM放送は0.1MHz単位で周波数を送ります。

●スキップボタンを長押しすると、周波数が自動で送られ、いちばん最初に受信できた放送局で止まります。

●FMステレオ放送を受信中に再生／一時停止／FMステレオボタンを押すと、ステレオ受信とモノラル受信を切り換えることができます。ノイズが多い場合にモノラル受信に切り換えると聴きやすくなります。



5 音量ボタン(+/-)を押して音量を調節します。周囲への迷惑になることがありますので、音量の上げすぎにご注意ください。



音量表示は1～2秒で消えます。

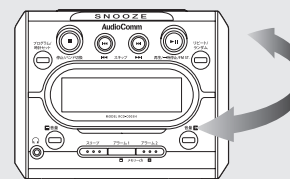
6 終了するときは、電源／ファンクションボタンを長押しします。
スタンバイモードになります。

※ボタン操作にともなうディスプレイ表示は、いずれも約8秒経つと現在時刻表示に戻ります。現在聴いている放送局を確認するには、停止／バンド切換ボタンを2回押してください。

受信状態をよくするには

●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



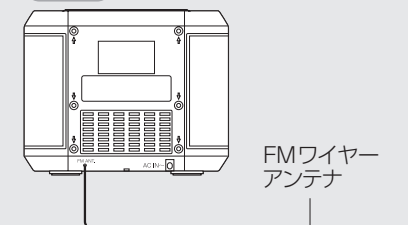
※テレビや蛍光灯の近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離れてご使用ください。

●FM放送の受信

FMワイヤーアンテナを伸ばし、窓に近い壁面など、受信状態が最も良い場所にテーブルなどで留めてください。

テーブルなどで留めてください。

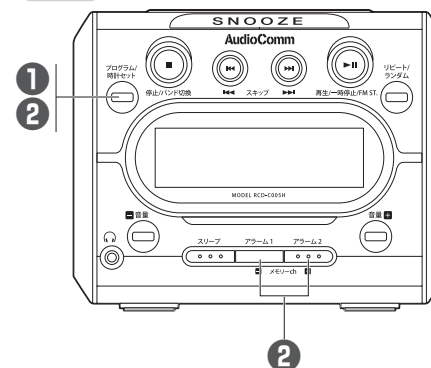
背面



メモリー登録

よく聴く放送局をメモリー登録しておくと、簡単に選局できるようになります。AM放送、FM放送それぞれ30局まで登録できます。

前面



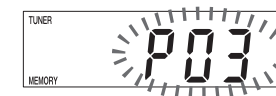
メモリー登録するには

1 登録したい放送を受信し、プログラム／時計セットボタンを押します。



点滅している間に次の操作をしてください。

2 必要に応じてアラーム1／メモリー(-)ボタンまたはアラーム2／メモリー(+)ボタンを押して、登録したいメモリー番号を選び、プログラム／時計セットボタンを押します。
登録が確定します。



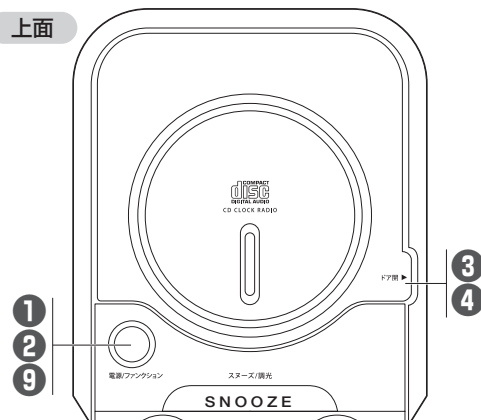
メモリー登録した放送局を受信するには

アラーム1／メモリー(-)ボタンまたはアラーム2／メモリー(+)ボタンを押して、登録したメモリー番号を選びます。

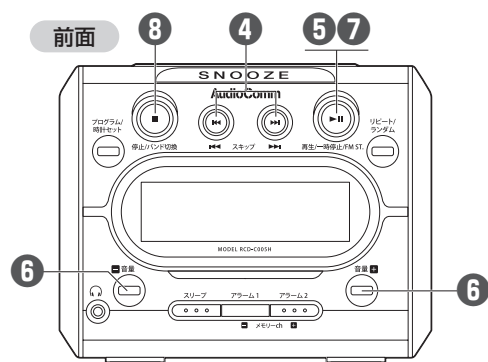
※メモリー番号に登録されている放送局を変更するには、新しい放送局を受信中に同じメモリー番号で登録し、上書きしてください。

CDを聴く

上面

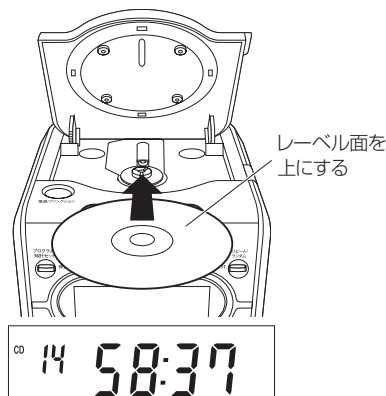


前面



- 4 レーベル面(印刷されている面)を上にしてディスクを正しくセットし、CDドアを開けます。

- CDドアを開けるとディスクが回転し、収録されている曲数と収録時間が約8秒間表示され、その後現在時刻表示に戻ります。
- 曲目を選択する場合は、ディスプレイの表示を確認しながらスキップボタン(◀◀/▶▶)を押して曲の番号を選びます。選択しない場合は、1曲目からの再生になります。



- 5 再生/一時停止/FMステレオボタンを押します。再生を開始します。



- 6 音量ボタン(+/-)を押して音量を調節します。周囲への迷惑になることがありますので、音量の上げすぎにご注意ください。



- 7 再生を一時停止するときは、再生/一時停止/FMステレオボタンを押します。一時停止中は経過時間表示が約8秒間点滅し、その後現在時刻表示に戻ります。もう一度押すと、再生を再開します。



- 8 再生を停止するときは、停止/バンド切換ボタンを押します。ディスプレイは曲数と収録時間表示に戻ります。



- 9 終了するときは、電源/ファンクションボタンを長押しします。スタンバイモードになります。

※ボタン操作や開閉操作にともなうディスプレイ表示は、いずれも約8秒経つと現在時刻表示に戻ります(CD再生中も含む)。

※現在聴いている曲の番号を確認するには、再生/一時停止/FMステレオボタンを2回押してください。
※ご使用になった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後はCDドアを必ず閉めてください。

スキップボタン(◀◀/▶▶)について

停止中、再生中、再生中の長押しといったそれぞれの状態に応じて、機能が異なります。

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
	一つ前の曲を選択	曲の頭に戻って再生。2回続けて押すと、一つ前の曲に戻って再生します。以降、押すごとに順次前の曲に戻って再生します。	聴いている曲が早戻しされます。指を離れた時点から再生を再開します。
	次の曲を選択	次の曲に移動して再生	聴いている曲が早送りされます。指を離れた時点から再生を再開します。

※再生中に長押しすると、断片的に再生音が流れますので、お好みのところで指を離してください。

リピート再生とランダム再生



1回押す
=1曲リピート再生

再生中にリピート/ランダムボタンを1回押すと、聴いている曲を繰り返し再生します。

- 1曲リピート再生時はディスプレイに「REPEAT」が点滅します。
- 停止中または一時停止中にリピート/ランダムボタンを1回押した場合は、再生/一時停止/FMステレオボタンを押すことで1曲リピート再生が始まります。



2回押す
=全曲リピート再生

再生中にリピート/ランダムボタンを2回押すと、CD内の全曲を繰り返し再生します。

- 全曲リピート再生時はディスプレイに「REPEAT」が点灯します。
- 停止中または一時停止中にリピート/ランダムボタンを2回押した場合は、再生/一時停止/FMステレオボタンを押すことで全曲リピート再生が始まります。



3回押す
=ランダム再生

再生中にリピート/ランダムボタンを3回押すと、CD内の全曲をランダムに再生します。

- ランダム再生時はディスプレイに「RANDOM」が点灯します。
- 停止中または一時停止中にリピート/ランダムボタンを3回押した場合は、再生/一時停止/FMステレオボタンを押すことでランダム再生が始まります。



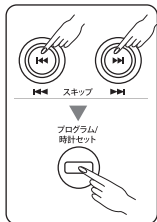
CDを聴く(つづき)

プログラム再生(CDの曲順を並べかえて聴く)

最大20曲まで登録できます。

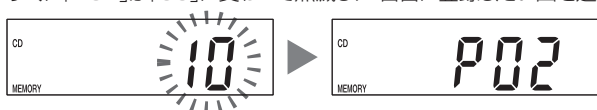


- 1 停止中にプログラム/時計セットボタンを押します。
ディスプレイに「MEMORY」と「P01」が表示され、すぐに「P01」が「00」に変わって点滅します。



- 2 スkipボタン(⏮/⏭)を押して1曲目に登録したい曲番号を選び、プログラム/時計セットボタンを押します。

プログラム/時計セットボタンを押すと、ディスプレイに「MEMORY」と「P02」が表示され、すぐに「P02」が「00」に変わって点滅し、2番目に登録したい曲を選ぶ状態になります。



- 3 ステップ2の操作を繰り返して、聴きたい曲を順に登録します。
最大20曲まで登録できます。



- 4 再生/一時停止/FMステレオボタンを押します。
プログラム再生を開始します。プログラム再生中はディスプレイに「MEMORY」が表示されます。



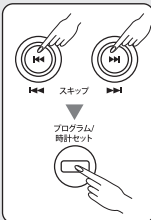
プログラムを修正するには

登録操作中に修正する場合



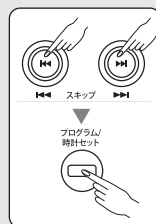
- 1 「00」が点滅中にプログラム/時計セットボタンを数回押して、変更したい曲順番号を表示します。

押すたびに「曲順番号→曲番号」が表示されるので、変更したい曲順番号になったら押すのをやめます。曲順番号のあと、すぐに曲番号が表示されます。



- 2 スkipボタン(⏮/⏭)で新しい曲番号を選び、プログラム/時計セットボタンを押します。
プログラム修正が完了します。

プログラム再生開始後に修正する場合



停止/バンド切換ボタンを押して再生を停止させたあと、ディスプレイに全曲数が表示されているときに、上記と同様の操作をしてください。その後、再生/一時停止/FMステレオボタンを押すと、プログラム再生が始まります。

※プログラム登録操作中に何も操作しない時間が約8秒間続くと、それまでの設定を保持したまま、現在時刻表示になります。そのまま再生/一時停止/FMステレオボタンを押すとプログラム再生が始まります。
※プログラム再生中に停止/バンド切換ボタンを押すと、プログラム再生を停止しますが、プログラム内容は保持しています。このままもう一度再生/一時停止/FMステレオボタンを押すと、曲順番号の最初からプログラム再生を開始します。
※プログラム再生中に停止/バンド切換ボタンを2回続けて押すと、再生が停止し、プログラム内容が解除されます。また、電源/ファンクションボタンを押してラジオに切り換えたとき、同ボタンを長押ししてスタンバイモードにしたとき、CDドアを開けたときも、プログラム内容は解除されます。
※プログラム登録操作中にプログラム内容を確認するには、プログラム/時計セットボタンを押します。押すたびに「P01」(曲順番号01)から順に、「曲順番号→登録した曲番号」が表示されます。
※全曲リピート再生とプログラム再生を併用すると、登録した曲を繰り返し聴くことができます。

アラーム機能の使い方

本機では、アラーム1とアラーム2にそれぞれ起動時刻とアラーム音の種類(ラジオ・CD・ブザー音から選択)を設定し、使い分けることができます。

アラームを設定するには

- ラジオをアラーム音として設定する場合は、あらかじめ放送局を受信したうえで電源を切り、右記の操作をしてください。
 - CDをアラーム音として設定する場合は、あらかじめCDを本機にセットしてから電源を切り、右記の操作をしてください。
- ※ここではアラーム1への設定のしかたを説明します。アラーム2に設定する場合は、「アラーム1/メモリー(-)ボタン」を「アラーム2/メモリー(+)ボタン」に読みかえて操作してください。

- 1 アラーム1/メモリー(-)ボタンを長押しします。
「ALARM1」と「時」表示が点滅します。

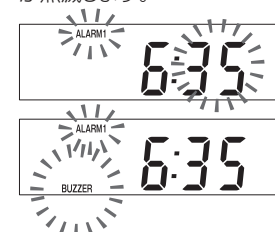


点滅している間に次の操作をしてください。

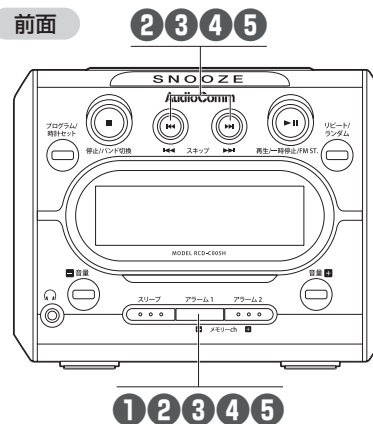
- 2 スkipボタン(⏮/⏭)を押して「時」を合わせ、アラーム1/メモリー(-)ボタンを押します。
「時」設定が確定し、「分」が点滅します。



- 3 スkipボタン(⏮/⏭)を押して「分」を合わせ、アラーム1/メモリー(-)ボタンを押します。
時刻設定が確定し、「BUZZER」と「ALARM1」が点滅します。



前面



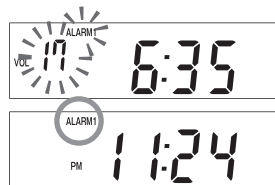
アラーム機能の使い方(つづき)

- 4 スキップボタン(⏮/⏭)を押してアラーム音の種類を選び、アラーム1 / メモリー(-)ボタンを押します。



- 5 スキップボタン(⏮/⏭)を押してアラーム音量を選び、アラーム1 / メモリー(-)ボタンを押します。

アラーム設定が確定し、現在時刻表示に戻ります。アラーム設定が有効なときは、「ALARM1」が表示されます。



※約8秒間何も操作しない時間が続くと設定操作がキャンセルされます。その際はもう一度最初からやり直してください。

アラームが鳴ったら

アラーム時刻になると本機が起動し、設定したアラーム音で設定した音量まで、徐々にアラーム音が大きくなっていきます。起動中はディスプレイの「ALARM1」または「ALARM2」が点滅します。



アラームを止めるには、電源 / ファンクションボタンを長押ししてスタンバイモードにします。

- アラームは止まりますが、ディスプレイの「ALARM1」は消えません。この状態では、翌日の同じ時刻に再びアラームが起動します。
- アラームを止めない場合、約1時間鳴り続けます。近隣の迷惑にならないよう、十分にご注意ください。
- アラームを解除するには、アラーム1 / メモリー(-)ボタン(ALARM2に設定した場合は、アラーム2 / メモリー(+)ボタン)を押して、ディスプレイの「ALARM1 (またはALARM2)」を消してください。

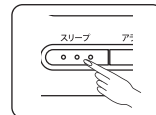
スヌーズ / 調光ボタンについて

- アラームが鳴っているときにスヌーズ / 調光ボタンを押すと、一時的にアラームが停止し、10分後に再度鳴ります。スヌーズ中はディスプレイに「SNOOZE」が表示され、「ALARM1」または「ALARM2」が点滅します。
- スヌーズは最大1時間続けることができます。



スリープ機能の使い方

電源オン時(CDまたはラジオ使用中)に、スリープボタンを押すと、自動電源オフまでの時間を設定できます。



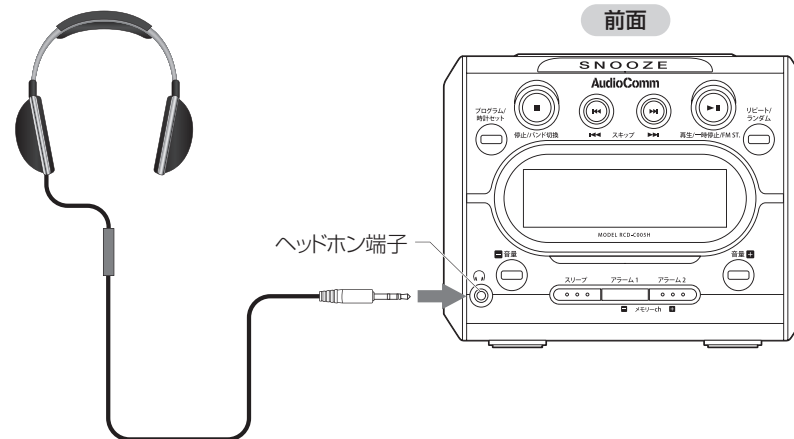
- スリープボタンを押すたびに、90分～00分まで10分刻みでディスプレイの数字が変化しますので、設定したい時間が表示されるまで数回押してください。
- スリープ設定中はディスプレイに「SLEEP」が表示されます。



※スリープ設定を解除するには、スリープボタンを数回押して表示を「00」にするか、電源 / ファンクションボタンを長押しして、スタンバイモードにしてください。

ヘッドホンで聴く

別売のヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を本機前面のヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。



※ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
※アラーム機能をご利用のときはヘッドホンを使わないでください。アラーム音が聴こえなくなります。

ディスプレイの明るさ調整について



- アラーム起動中以外のときに(スタンバイモードを含む)、スヌーズ / 調光ボタンを押すと、ディスプレイの明るさが変わります。押すたびに暗・中・明の3段階で調節できます。
- 電源オン時にディスプレイの明るさを中または明に設定した場合、スタンバイモードにすると暗になります。

故障かなと思ったら

	症 状	チェック項目
共通部	電源が入らない	○電源コードが外れて(ゆるんで)いませんか。
	電源プラグを家庭用コンセントから抜くと時計表示が消える	○時計用バックアップ乾電池を入れてください。
	音が出ない	○音量が最小になっていませんか。
CD部	CDの再生が始まらない	○CDが裏返しに入っていないですか。 ○CDがひどく汚れていませんか。 ○規格外のディスクが入っていないですか。 ○レンズがひどく汚れていませんか。 ○CDドアがしっかりと閉まっていますか。 ○別のファンクション(ラジオ)になっていませんか。
	CDの音が出ない	○一時停止状態になっていませんか。
	CDの音が飛び	○結露状態になっていませんか。 ○レンズがひどく汚れていませんか。 ○強い振動を与えていませんか。 ○CDに大きなキズやひどい汚れはありませんか。
ラジオ部	ラジオに雑音が入る	○近くで携帯電話を使用していないですか。 ○テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか。
その他	ボタン操作後しばらくすると時刻表示に戻る	○本機はCDやラジオ操作時も一定時間が経つと現在時刻を表示するように設計されています。故障ではありません。

お手入れのしかた

※お手入れの前には、あらかじめ電源プラグや乾電池を外し、誤って電源が入らないようにしてから行なってください。

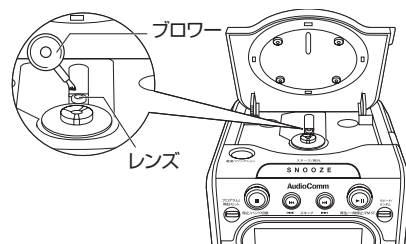
本体のクリーニング

- 本体や操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後に乾拭きしてください。
- 電源プラグにほこりがたまると、発火する危険があります。プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

CDプレーヤー・レンズ部のクリーニング

レンズの汚れは、音飛びなど正常な再生ができなくなる原因になります。CDドアを開け、下図のようにレンズをクリーニングしてください。

- 市販のクリーニングキットのプロワーを使って、ほこりやゴミなどをはき出してください。
- 万一指紋などがついていている場合は、市販のレンズクリーナーをお使いください。



主な仕様

電 源	AC 100V 50/60Hz
	時計用バックアップ乾電池 DC9V 006P形 1本(別売)
最大出力	1W×2(RMS)
消費電力	11W
スピーカー	口径76mm×2(コーン型・インピーダンス4Ω)
出力端子	ヘッドホン(φ3.5mmステレオミニジャック)
受信周波数	AM : 522 ~ 1620kHz(9kHzステップ)
	FM : 76.0 ~ 90.0MHz(0.1MHzステップ)
外形寸法	幅160×高さ126×奥行186.5mm(突起物含まず)
質 量	約1320g(乾電池含まず)
時計精度	月差 ±20秒
付属品	取扱説明書(保証書付)

※仕様及び外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

※本書で使用している図版は、実際と異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。